

シンポジウム「特別史跡埼玉古墳群のこれから」アンケート結果について

令和5年4月5日（水）

埼玉県立さきたま史跡の博物館 史跡整備担当

○シンポジウムの開催趣旨とアンケート

今回のシンポジウムは「特別史跡埼玉古墳群のこれから」をテーマとし、地域の方々と今後の埼玉古墳群の整備や活用を考える場にするを目的としました。そこで、シンポジウムに参加した皆さまに、アンケートという形でご意見をいただきました。

アンケート結果は、今後の埼玉古墳群が目指すべき姿を検討する上で、大変貴重なご意見として公開させていただきます。

シンポジウムにご来場いただき、アンケートをお寄せ下さった方々に厚く御礼申し上げます。

○シンポジウム参加者数

参加者数 251名

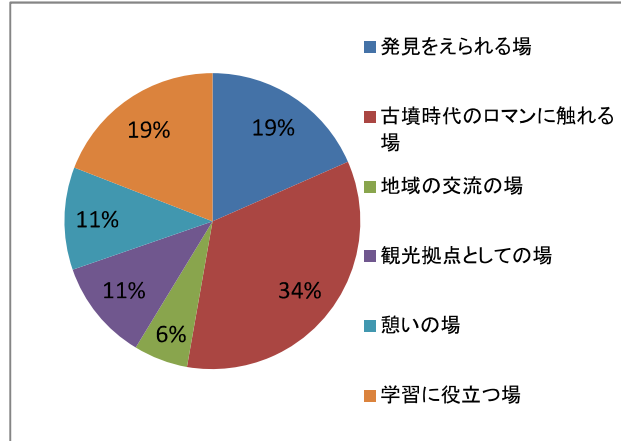


シンポジウム「特別史跡埼玉古墳群のこれから」

有効回答者 202名 参加者 251名 回収率 80.5%

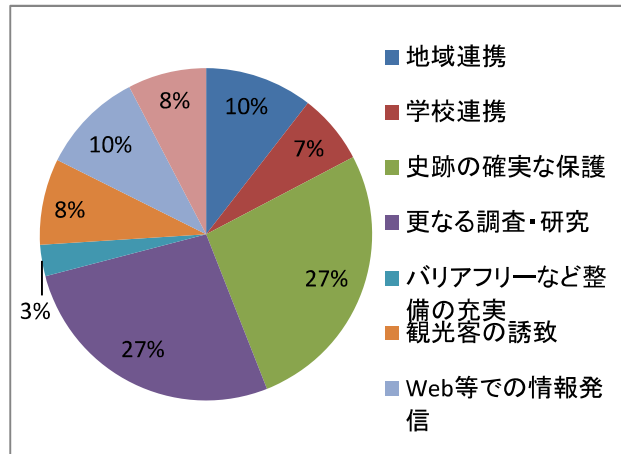
1 埼玉古墳群に期待する役割で近いものをお選びください(複数回答)

発見をえられる場	84
古墳時代のロマンに触れる場	156
地域の交流の場	27
観光拠点としての場	50
憩いの場	51
学習に役立つ場	87



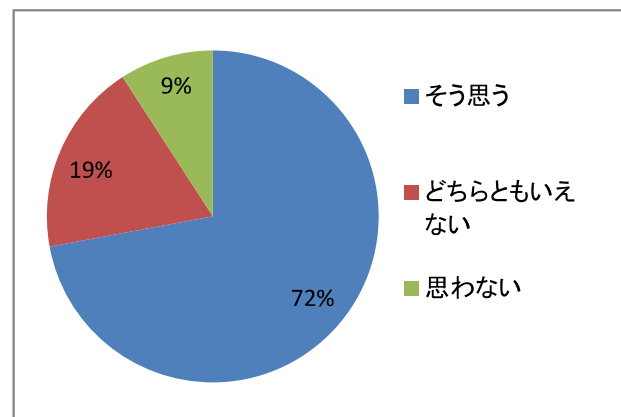
2 埼玉古墳群に必要なことは何だと思えますか(複数選択可)

地域連携	59
学校連携	38
史跡の確実な保護	150
更なる調査・研究	151
バリアフリーなど整備の充実	17
観光客の誘致	47
Web等での情報発信	56
体験型イベント	43



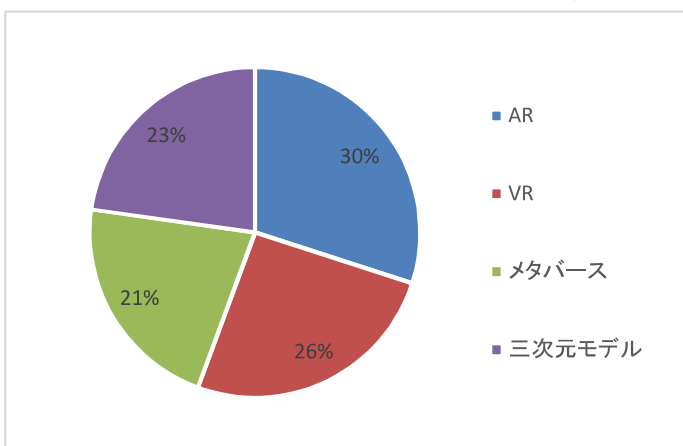
3 AR・VR等の技術を使ったアプリやコンテンツを体験してみたいと思えますか

そう思う	142
どちらともいえない	37
思わない	18



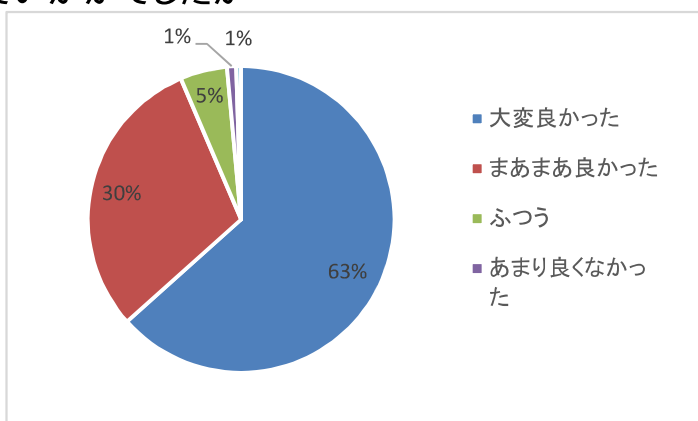
4 デジタル技術を活用した整備として、体験してみたいものをお選びください(複数回答可)

AR	104
VR	89
メタバース	75
三次元モデル	79



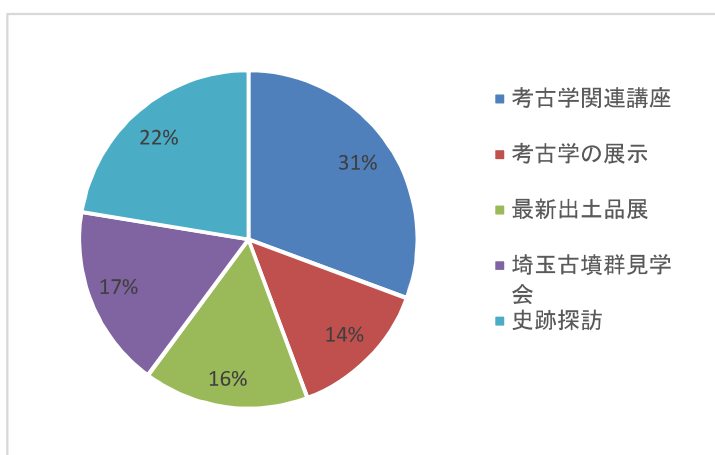
5 本日のシンポジウムに参加していかがでしたか

大変良かった	128
まあまあ良かった	61
ふつう	10
あまり良くなかった	2
良くなかった	1



6 あなたが興味がある催しものは何ですか。

考古学関連講座	130
考古学の展示	58
最新出土品展	67
埼玉古墳群見学会	74
史跡探訪	95



アンケートで頂いた自由回答をご紹介します

○さいたま市、60代

東京から日帰りで来れる古墳群として希少性があり、企画次第で、大バケするコンテンツである。もっと知恵を絞ってほしい（忍城と関連したツアーとか）。シンポジウムはもっと熱気あふれる場として企画してほしい。

○行田市、60代

楽しく学びの多いシンポジウムありがとうございました。参加者に若い方が大変少なく残念な気持ちになりました。地域のこれからを担う力になるので何らかの動員ができなかったのか。次回に期待します。また、パネルディスカッションには市民代表やボランティアをされている方を加えた方が、「史跡は私たちのもの」「SDGS 的未来へ」がより伝わるように感じました。

○東松山市、70代

さきたま古墳群をこれからどう活用していくのかと、各先生方からのお話しや各地域からの皆さんの活動を知って、大変参考になりました。今後埼玉古墳群の興味ある歴史的な発見等のシンポジウムや、先生方の講演等を今後も聞かせていただきたい。

○行田市、70代

タイトルに興味ありました。大変わかりやすく聴くことができました。楽しかったです。今後埼玉古墳群の講座・イベント等にか積極的に参加したいと考えています。

○新座市、50代

古墳は興味のない人からすると「お墓」「大きいけど全体がよくわからない」「眺めるだけのもの」という地味な存在ではないでしょうか。古墳の周辺には1500年前の生活がありました。園地に当時の生活を感じられる、住居、祭りの場などの再現とそれを体験（暮らしや狩猟）できるアトラクションがあれば、学びと遊びを一緒に楽しめる魅力的な場になると思います。

行政・市民・大学との連携はよいのですが、人集めや発想の新しさは民間にはかないません。民間をもっと活用することを考えてほしいです。

○坂戸市、60代

百舌鳥古墳群のように、埼玉古墳群も世界遺産候補に再チャレンジしてほしい。群馬や千葉などの古墳群と組んで古代東国の古墳群として、世界遺産になるのではないだろうか。

○入間市、40代

文化財を見学できるのは、現代まで守ってきた人々との関わり、歴史の結果だと思います。古墳を見て古墳時代の事だけを考えるのではなく、1500年間人々は古墳とどう生きてきたのかを学ぶことも重要だと思います。今回のシンポジウムはネット配信してほしかったです。

○川口市、50代

稲荷山古墳の発掘の映像に感激しました。私が社会科見学で小学生の頃に来たときは、稲荷山古墳は土とりされた丸い姿でした。二子山古墳にはウサギがたくさん住んでいました。そんなさきたま古墳も好きですがとにかく発掘していただきたいと願います。そしてどんな人がそこに眠っていたのか興味がつきません。

○行田市、60代

どの講演も大変興味深く聞かせていただきました。時間の関係で仕方がなかったのかもかもしれませんが、佐藤先生の後半のお話を聞くことができなかったのが残念でした。今後も古墳の発掘等がすすめられ、ますます地元の誇りとなることを期待しています。ありがとうございました。

○居住地未記入、70代

禰亘田様の全国の史跡を6つの地域の人が連携して様々なイベントをしている参考例の中に「わたしと埼玉古墳」の今後の在り方のヒントがあると思いました。県と市と地域住民との連携をぜひ深めていってください。

○宮代町、70代

今年、SNSの影響もあり、古墳群を2回見てまわりました。今回のシンポジウムの内容も講師の方の熱心に心動かされました。行田の街並みも落ち着いていて、何度も訪れたいくなります。ありがとうございました。

○熊谷市、50代

埼玉古墳群の今までの歩みをするのができ、大変良かったです。二子山古墳の件は大変残念でしたが、ただ立ち入り禁止にするのではなく、みまわりもしていただきたいです。これからは子供たちの教育も大切です。おしつける教育ではなく興味を持ってもらえるように工夫して今後にひきついでほしいです。私と埼玉古墳群プロジェクト楽しみにしています。

○深谷市、50代

とてもおもしろかったです。昔の写真のスライドショーも良かったです。オンラインでやれば、きっと全国の人がみられると思います。その中から、ぜひ本物をみたい、と行田にきてくれるコアな人が絶対出てきますよ。

○鴻巣市、50代

さきたま古墳群ガイドを育成してほしい（ガイドになりたい）。インバウンドも含めて、もっと世界に発信すべき、外国人観光客の誘致、地域連携（忍城・古民家・神社など）もあわせてモデルコースをつくるなど。火祭り以外にイベントを考えるのも良いかも。

○東京都、50代

頻繁に埼玉古墳群と博物館に来ています。新しい説明板の設置など、新しい発見がある。二子山の件は、大変心を痛めている。古墳を大切にしていきたい。

○戸田市、60代

土の中に埋もれたままにすることが「保存・次世代につなぐ」ことになるのでしょうか。疑問に感じました。発掘は遺跡をこわすことだといわれているようですが、確かにその面もあるのでしょうか、歴史を大事にすることや住民への教育や活用という面を考えると、住民の意識を高めるには、発掘調査は必要なのではないでしょうか。大人の社会科見学楽しみです。ぜひお願い致します。交通アクセスの改善の必要性も感じています。

○所沢市、40代

今日のシンポジウムをととても楽しみにしていました。昨年初めて古墳公園を訪れ、すっかり大好きになり、月1回は訪れております。年間パスも購入し、ガイドツアーも参加しました。今日のようなシンポジウムやガイドツアーなど、継続、活発化していただきたいです。さらに興味がわきます。応援しています。

○行田市、70代

ワクワクする体験をしたい。さわれる古代の埴輪、出土品などがあれば良いなあと感じました。（模造品でも良いです）

○上尾市、70代

年に何回か散歩を兼ねて古墳めぐりをしていますが、いかにしてこれからの埼玉古墳群を残していくかを考えることができました。参加から参画へ、難しい面もありますが、少しずつ実現出来たら良いなと思いました。

○鴻巣市、70代

埼玉古墳群出土資料展示だけでなく、近辺の古墳群との関係や、北大竹遺跡、築道下遺跡との関連など、古墳群が成立できた横の展開が理解できる資料やパネル説明のスペースが必要と感じる。商業施設を建設し客を集めるより、博物館内容の充実を計って欲しい。

○桶川市、70代

佐藤先生のご講演は、杖刀人や東国の軍事力についての説明は大変興味深かった。これからは古墳時代を体験できる試みを。例えば、古墳の上に登って昔の豪族の気持ちを想像するような体験を行うなどが良いか。

○行田市、40代

「古墳」というコンテンツを使って、世界遺産をめざしてほしい。そのためには、行田市だけでは無理で、他自治体（群馬県前橋市・栃木県小山市・下野市など）と連携して進めてほしい。

○行田市、70代

佐藤先生のお話をもっと時間をとってじっくり聞きたかった。他の先生のお話も面白かった。自由に写真をとってください博物館のキャッチフレーズはとても良い。大変良い企画をたてていただいて、ありがとうございました。

○鴻巣市、70代

1500年以上前のものが、まだ存在していることを子供たちにも興味をもってもらう活動をしてほしい。

○鴻巣市、60代

特別史跡の看板をどのように活かし続けるのか。世界遺産になったところでも閑散とした場所になってしまっているところもある。人が来続ける場所にしてほしい。史跡観光でも人が来続けることが大事。

○深谷市、60代

韓国のキョンジュでは、古墳が世界遺産になっております。極東である日本の古墳群も世界遺産になってよいと思います。地元の人々に大切にされてきた古墳群がさらに続くことを願っています。

○行田市、20代

行田生まれ行田育ちの大学生です。大学で埼玉古墳群の歴史的価値を学んだことで、地元である埼玉古墳群に興味を持ち、今回のシンポジウムに参加させていただきました。先生方による様々な視点から見た埼玉古墳群について学ぶことができ、「もっと知りたい、守りたい、知ってほしい」と強く思いました。将来学芸員を目指す者として、本日学んだことを今後につなげていきたいと思っています。本日はありがとうございました。

○鶴ヶ島市、50代

埼玉古墳群の危機の歴史があったことを知り、大切にしていかなければならないとの思いを強く感じました。子供が発表する機会は、郷土愛を育むと思います。

○深谷市、60代

埼玉古墳群を整備しながら古墳の発掘をして、新しい発見をしてほしいと思います。また、地域市民が古墳を守ってきた歴史を踏まえて、地域の人々や学校と連携しながら盛り上げていってほしいと思います。

○蕨市、40代

以前、行田市に住んでいましたが、「埼玉古墳群」は「埼玉県のもの」という意識がありました。討議の中で市民+埼玉県+行田市の協同の話がありましたが、その意識が変わるようなイベントを開催してほしいです。初めて埼玉古墳群に来てから約40年たちますが、来るたびに学術的な成果があつて、素晴らしいと思っています。

○加須市、50代

とても貴重なお話をきくことができ良かったです。埼玉古墳群は古代史好きな方なら知らない人はいない古墳群です。全国に古代史好きな知人がいますが、一度行ってみたいけど、交通が不便、アクセスが悪い、などよく言われます。古墳へのアクセスも、保存の取り組みと共に今後はもっと力を入れるべきではないでしょうか。

○志木市、60代

市民の参画への取り組み、また次代を担う子供たちに興味をもってもらえるような取り組みの重要性を改めて思いました。

○さいたま市、60代

道の駅などの店やレストランを併設した史跡も多くなっていると思います。史跡見学等、史跡の魅力だけでなく、史跡を活用したレストランメニューや、ミュージアムグッズが充実すれば、さらに魅力的になると思います。

○行田市、70代

市民参加が必要といわれており、協力ボランティアを募集し、前向きに進められればと思います。

○行田市、70代

一般の方はあまり特別史跡の意義や稲荷山鉄剣の価値がわかっていない。そのあたりを積極的にPRしていく必要があるように思う。

○行田市、60代

小学校の遠足に来た時から大きく変わりました。時代と共に使い道も変わり、孫の遊び場や、自分のウォーキングコースになり、これからも楽しい場所になると良いです。

○深谷市、50代

埼玉古墳群を後世にしっかりと残せるように、ご尽力願います。定期的にシンポジウムに参加できるようになればと思います。講師の方々の話は、面白くて大変興味深く拝聴しました。住民参画の一役になれる日がくることを切に願います。

○深谷市、20代)

先日発生しました二子山古墳の事例を教訓として、史跡の保存方法を改めて検討してください。シンポジウム参加者の年齢層が偏っていると感じました。若者向けの催しを行って下さい。講演内容はとても素晴らしく、殊に禰亘田先生の講演は今後の文化財行政を考えるきっかけになりました。

○行田市、50代

全国的な文化財都市として行田市が、先進的な事業ができることが理想。埼玉古墳群は古墳時代の政治・生活・文化・いのりが体験できる場所であってほしい。行田出身の考古学者がたくさん出るような学習の場となってほしい。

○鴻巣市、70代

古墳好きな人間だけでなく、公園としての活用で、一般の人たちを呼びつける機会を作っていくことが必要と感じました。